

## 製品安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	フレッシュバリュー SVKタイプ
会社名	グンゼ株式会社 プラスチックカンパニー 技術部 品質保証課 滋賀県守山市森川原町163
TEL番号	077-585-0251
FAX番号	077-585-0283

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	分類できない、または区分に該当しない
健康に対する有害性	分類できない、または区分に該当しない
環境に対する有害性	分類できない、または区分に該当しない
GHSラベル要素	分類できない、または区分に該当しない

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

	成分A	成分B	
化学名又は一般名	ポリプロピレン CAS No. 9003 -07-0	添加剤	

### 4. 応急措置

吸入した場合	常温ではガスの発生はないが、燃焼ガスを吸入した場合は新鮮な空気のある場所に移り、安静保温に努め医療処置を受ける（加熱加工工程にて局所排気装置を設置することが望ましい）。咳、呼吸困難等の症状が出たときは、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	一般的なフィルムの取り扱いでは皮膚を刺激しないが、取り扱い後には石鹼・水で洗い流す。溶融物が付着した場合は、衣服の上から大量の水をかけ十分に冷却する。融着した樹脂は無理に剥がさない。速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で洗浄する。異物が眼に残るようであれば、眼科医の手当てを受ける。目をこすってはならない。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。可能であれば直ちに吐かせる。多量に飲み込んだ場合は、医師の手当てを受ける。
その他の注意事項	応急処置をする者は必要に応じて保護手袋、マスク、ゴーグル等の保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、粉末または泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂等
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物等を含むガスを発生する恐れがある。
特有の消化方法	火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火作業は可能な限り風上から消火剤を用いて消火する。  
消火による放水等により、環境に影響を及ぼす物質が外部に流出しないように適切な処置をする。

**消化を行う者の特別な保護具及び予防措置** 消火作業の際には、呼吸保護具と防火保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置** フィルム層の上に人が乗ると滑りやすく、転倒の危険性があるため、回収作業は注意して行う。

**環境に対する注意事項** 漏出すると環境汚染の原因となる可能性があるため、漏出したものは速やかに回収する。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材** フィルム層の場合、ほうき或いは電気掃除機等で集め、回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

**取り扱い**

**技術的対策** フィルムの巻出しから巻取りまでの工程では確実な接地等を行い、静電気対策を行う。ロール状のフィルム製品は重量物であるため、取り扱いはリフト等を使用する。また、フィルム製品の転倒等に備え、安全靴を着用する。

**安全取扱い注意事項** 梱包製品を開梱するとき等は、手袋等を着用し、金具(ホチキス針)・プラスチックバンド或いはシート端面・ベニヤ板・紙等の取り扱いに十分注意する。

**接触回避** 特になし

**保管**

**安全な保管条件** 直射日光、高温多湿、水濡れの場所は避け、屋内で保管する。火気、熱源、発火源から離れた場所で保管する。また、保管場所で火気を使用してはいけない。

**安全な容器包装材料** 製品使用包装に準じる。

8. 暴露防止及び保護措置

**許容濃度** 製品の粉塵に関する許容濃度は定められていないが、次の値を準用するのが妥当と考えられる。

日本産業衛生学会(2021年度版)  
第3種粉塵の許容濃度  
吸入性粉塵: 2 mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵: 8 mg/m<sup>3</sup>

ACGIH(2021年度版)  
一般粉塵  
吸入性粉塵: 3 mg/m<sup>3</sup>  
総粉塵: 10 mg/m<sup>3</sup>

**設備対策** 必要に応じて、局所排気・全体換気の設定を設置する。

**保護具**

**呼吸用保護具** フィルムの加工等で粉塵が発生するときは、防塵マスクを着用する。

**手の保護具** 常温での取り扱いでは必要に応じ保護手袋を着用する。高温での取り扱いでは断熱性の良い保護手袋を着用する。

**眼、顔面の保護具** フィルムの加工等で粉塵が発生するときには側板付き保護メガネ、又はゴーグル型保護メガネを着用する。

**皮膚及び身体の保護具** 長袖の作業服、安全靴を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	無色透明
臭い	微臭
融点・凝固点	160℃以上
沸点	データなし
可燃性	可燃性
爆発限界（上限/下限）	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水に難溶
蒸気圧	データなし
密度	0.90～0.91 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	所定の取り扱い、保管条件では安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	熱分解により、二酸化炭素、一酸化炭、窒素酸化物等を含むガスを発生する恐れがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	本製品、成分ともにデータなし	分類できない
	経皮	本製品、成分ともにデータなし	分類できない
	吸入（ガス）	固体である	区分に該当しない
	吸入（蒸気）	本製品、成分ともにデータなし	分類できない
	吸入（粉じん）	本製品、成分ともにデータなし	分類できない
	吸入（ミスト）	本製品、成分ともにデータなし	分類できない
皮膚腐食性/刺激性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
眼に対する重篤損傷性/眼刺激性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
呼吸器感作性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
皮膚感作性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
生殖細胞変異原性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
発がん性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
生殖毒性		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		本製品、成分ともにデータなし	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		本製品、成分ともにデータなし	分類できない

誤えん有毒性	本製品、成分ともにデータなし	分類できない
<b>1 2. 環境影響情報</b>		
生態毒性		
水生環境有害性 短期（急性）	本製品、成分ともにデータなし	
水生環境有害性 長期（慢性）	本製品、成分ともにデータなし	
残留性・分解性	環境において長期間分解しない	
生体蓄積性	本製品、成分ともにデータなし	
土壤中の移動性	本製品、成分ともにデータなし	
オゾン層への有害性	本製品、成分ともにデータなし 成分はモントリオール議定書の付属書に列記されていないため区分に分類できないとした。	
<b>1 3. 廃棄上の注意</b>		
残余、廃棄物	関連法規並びに地方自体の基準に従って適切な処分を行う。 廃棄の際は許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託契約し行う。	
汚染容器及び包装	包装資材はリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 廃棄の際は許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託契約して行う。	
<b>1 4. 輸送上の注意</b>		
国連番号	分類できない	
品名	分類できない	
国連分類	分類できない	
容器等級	分類できない	
国内規制		
海上規制情報	船舶安全法の規定に従い輸送する。	
航空規制情報	航空法の規定に従い輸送する。	
陸上規制情報	消防法の規定に従い輸送する。	
特別な安全対策	落下・損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。梱包材が破れないように、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。火気、高温度の物体を避ける。	
<b>1 5. 適用法令</b>		
消防法	指定可燃物 合成樹脂類 3,000kg	
廃棄物の処理および清掃に関する法律	産業廃棄物「廃プラスチック類」	
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16項	
<b>1 6. その他の情報</b>		
用途について		
食品包装用途	食品衛生法 食品、添加物等の規格基準（昭34年厚生省告示第370号、最終改正：令2年厚生労働省告示第380号）に適合しています。	
医療用途	薬事法で規定されている医療用具などの医療用途に使用される場合は、事前にグンゼ株式会社にご相談ください。	
その他特定用途	各用途に適用される法規制が存在する場合は、それらに適合していることを確認したうえで使用してください。	
免責事項	本データシートは弊社が信頼できるものと判断した情報をもとにJ	

IS Z 7 2 5 2 : 2 0 1 9およびJIS Z 7 2 5 3 : 2 0 1 9に従って作成したのですが、正確性を保証したり何か責任を負うものではありません。

記載内容は本製品に関するものであり、本製品が他の材料・素材と組み合わされた場合については想定しておりません。

記載内容は通常の使用状態におけるものであり特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、製品の使用をお願いします。

記載内容は現時点で入手できる最新の資料や情報に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂する場合がありますのでご了承ください。

---